

長崎国際大学同窓会誌

Vol. 4
2012.4

〔発行元〕長崎国際大学同窓会

〒859-3298 長崎県佐世保市ハウステンボス町2825-7 長崎国際大学事務局

TEL.0956 (39) 2020 FAX.0956 (39) 3111 <http://www.niu.ac.jp>



第9回卒業式の様子

2月下旬、4年生と薬学部6年生が、卒業判定の結果を掲示板で確認をしている姿は、大学の合格発表を見に来た高校生の姿と重なって見えました。今年は、国際観光学科・社会福祉学科・健康栄養学科・観光学専攻・社会福祉学専攻・健康栄養学専攻・地域マネジメント専攻そして新たに薬学科の学生、総勢338名の学生が3月10日に卒業・修了を迎えることができました。

同窓会としては、9期生を新たに迎え、更に発展していくよう努力していきたいと思っております。

心よりご卒業をお祝い申し上げます。

薬学部薬学科の第1期生が卒業しました。

薬学部 薬学科 1期生

タクボ リカ

田久保 利佳



入学して早いもので6年が経ち、私たち長崎国際大学 薬学部 薬学科第1期生がこの度、卒業いたします。

学生時代、楽しい時も、苦しく述べる時も一緒に乗り越えたかけがえのない友達、長崎国際大学で学んだ専門知識に加えおもてなしの心、そして何よりここ長崎国際大学で学べた喜びをかみしめ、第1期生としての誇りを胸に社会に旅立ちます。

これからは長崎国際大学の卒業生として社会の為に、精一杯人生を謳歌してまいりたいと思います。

今後も長崎国際大学のすばらしい発展をお祈りいたします。

広がる同窓会活動

オリハラ ケンジ
長崎国際大学同窓会 悠和会会長 折原 賢児



春暖の候皆様いかがお過ごしでしょうか。
窓の外にちらつく雪を見ながら筆をとっています。
さて、同窓会誌も4号目の発行となり、悠和会の活動も学内外に向けて徐々に浸透し始めていることを実感しています。といいますのも、悠和会が取り組んできました部活・サークルバックアップ支援ですが、今年は昨年の倍近く、14団体からの申請がありました。そして支援してきました各団体ともに全国大会出場など好成績を残しています。また、大学創立10周年記念に寄贈しましたモニュメント時計ですが、実はその下に大きなハート型のアーチも造りました。なんとそこで卒業生が結婚式の前撮りを行う(知る限りで3組)、結婚式のお祝いにそこからサプライズ動画を送るなど、たくさんの幸せが発信されています。そしてどうやらカップルも多数誕生している模様です。このままだと式を挙げてしまうカップルも出てきそうです(本当に)!

こうして悠和会の取り組みがいろいろな形で喜びに変わっていくことは嬉しい限りです。今後とも同窓生の皆様のご支援を有効に活用させていただきます。春の雨にあてられぬよう、どうぞご自愛ください。

長崎国際大学同窓会「悠和会」役員紹介

長崎国際大学同窓会会員の皆様、
こんにちは。悠和会役員をさせて頂いています社会福祉学科3期生の萩原圭一です。

私は卒業後、大学の系列でもある長崎短期大学で働かせて頂いております。短大では大学生のころに始めた茶道文化を担当しており、学生たちに茶道を指導する日々を送っております。大学も短大も「建学の精神」が茶道であり、長崎国際大学の母体ともいえる九州文化学園が創立以来60有余年にわたって人間教育の基本となっています。茶道と言っても単に点前をするだけではなく、日本文化を学ぶことでもあります。みなさんの中でも茶道文化の授業を受講された方は多いと思いますが、受講された方で禅語の説明があったのを覚えていらっしゃいますでしょうか？茶道は禅に通じており、千利休の言葉の中にも禅の重要性を伝えている書物があります。茶道とはお客様をもてなし、お客様とコミュニケーションをとってお互いを尊重し合うことが重要とされます。茶を点てる者と飲む者がいて初めてお茶席という形となっていました。お互いを敬いながら支え合い一つのお茶会を完成させていくわけです。そこに生まれる人ととの関わりやホスピタリティ精神こそ“いつも、人から。そして、心から。”となるのだと思います。

私たちはこの精神を胸に悠和会を運営しています。そこで私は、同窓会のホームページを担当させて頂いております。大学のホームページから“繋がりあえる場”という題材で同窓会のページがあります。そこではこれまでの活動をトピックスで見れるようにしております。もちろんこれから活動も、随時更新していくきますので色々とチェックしてみて下さい。これからもより良いページを作っていきたいと思っておりますので、何かありましたら同窓会(dousou@niu.ac.jp)にご意見を頂けたら幸いです。

今後とも頑張っていきたいと思いますので、皆さま同窓会の活動にご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。



社会福祉学科 3期生
ハギハラ ケイイチ
萩原 圭一

大学を卒業して早いもので4年が経ちました。今でも長崎国際大学での楽しかった事、仲間達と1つの目標に向かって頑張った日々を思い出すと、長崎国際大学で4年間を過ごせた事は私にとってかけがえのない時間だったと心から思います。そして今は、社会人として新たな挑戦の日々を送っています。

社会人1年目は、仕事を覚える事に必死であつという間に過ぎていきました。怒られ、勉強し、経験を積み…まだまだ足りないものも多いですが、社会人4年目の今では、責任ある仕事も任せてもらえるようになりました。とてもやりがいを感じるようになりました。が…それ同時に、今までとはまた違う、悩みや壁にもぶち当たるようになりました。

そんな時に話を聞き、支えてくれるのが、長崎国際大学の「仲間」です。仕事に対する悩みも、仕事以外の私生活での悩みも、包み隠さず話せ、それを親身になって受け止めて支えてくれる…そんな仲間は私にとって今では一生の「宝」となり「財産」となっています。長崎国際大学を卒業し、離ればなれになり、皆それぞれ違う人生を歩んでいても、共に過ごし、楽しい事も苦しい事も共有し、ケンカもし、あらゆる事を共に経験してきたからこそ、今でもこうした関係でいれるのだと思います。

前回の同窓会総会の後に行われた懇親会では、そんな仲間達と久々にとても楽しい時間を過ごす事ができました。こういった機会はとても大切ですね！

これからも長崎国際大学で出逢えた仲間達と共に、人生を思いつきり楽しみながら過ごしていきたいと思います。



国際観光学科 5期生
クドウ ケイイチロウ
工藤圭一郎



悠和会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

学校法人九州文化学園 理事長 安部 直樹

今年の冬は、例年に比べて一段と冷え込みの厳しい年되었습니다。それでも、桃、梅、菜の花等、早春の主役たちは着実に花を開かせています。

2011年3月11日、東日本大震災では約16,000名の方が亡くなり、3,200名余の方が今尚、行方不明という未曾有の大震災。その惨事から1年を経た3月10日には第9回の卒業式を挙行しました。今回は初めて薬学部の卒業生を送り出しました。潮谷学長は、今回の卒業式の学長式辞が最後となりました。就任して3年間、期間は決して長くはありませんでしたが、本大学は「いのち、健康、暮らし」という特色を持ち、その為の実践を施行され、学生、教職員に“いのち”的大切さを説かれ、私たちを鼓舞して頂き、凝縮された3年間がありました。後任に就任することになりました浅学非才の私ですが、一生懸命力を尽くして参りますので、皆様方のご支援をよろしくお願ひいたします。



今、大学をめぐる環境は厳しい状況であります。少子化、地方の過疎化、定員未充足の大学は全体で4割を超えており、そのような中で長崎国際大学は地方にあり、地方の有為なる人材を養成、地域の活性化に努めています。国際観光学科は幸い、ハウステンボスも活況を期し、アジアとの交流も今後ますます重要になってくるでしょう。現在、日本の高齢化率は23%、しかし、2030年には30%になります。65歳以上が3人に1人の割合になる社会で、当然ながら社会福祉士、介護福祉士の需要は高まつてくる中で社会福祉学科の卒業生の皆さんの働きも大きくなっています。健康栄養学科は、広がる生活習慣病の中で、食の健康が今、問われている時代です。健康で暮らす日々、それは日々の食生活。今こそ管理栄養士の出番です。さらに、長寿社会、高齢者社会では薬剤師に対する期待はいよいよ高まっています。

以上のように、本学の学部、学科は、地域に人にそして社会にとって必要不可欠な人材を輩出するものであり、本学の可能性は大きいものです。それだけに卒業生の皆様が、それぞれの職場で活躍し、頑張って欲しいと期待しています。

大学の趨勢の裏にはいつも同窓生の顔があります。また、高い評価を大学が受けすることが、よりもなおさず同窓生の誇りに繋がることをいつも意識しています。何かの縁で青春の一時期を本学で過ごされたこと、その縁を大切にしたいと思います。是非、大学に遊びに来て下さい。今後の皆様の前途に幸、多かれと祈っています。

出会いと別れのとき

シオタニ ヨシコ
学長 潮谷 義子



寒風の中に水仙や躑躅の臺を見る今日この頃ですが、皆さん、元気にお過ごしでしょうか。

2月初旬、熊本市内のとあるホテルで会議がありました。終了後、大きな声で「長崎国際大学4期の卒業生です」と名乗ってくれた人がいました。この人の自己紹介で、私はまるで自分の教え子のような誇らしき親しみを感じました。また、短い立ち話の端々に本学のモットー「いつも、人から。そして、心から。」のホスピタリティ溢れるホテルマンらしい雰囲気と笑顔がありました。

その一方で、2月中旬、本学を卒業し、学童保育に従事していた女性が、追突事故の為、対面の車道に押し出された車と正面衝突し、生命を失くすという出来事がありました。この不条理さにご両親だけでなく、多くの人々の嘆き、悲しみは深く、怒りさえ覚えるものでした。

改めて申し上げる必要ない事と思いつつ、私たち教職員は、同窓生の皆さんのご健康とご多幸を心から願っています。どうぞ、与えられた命を大切にし、自らが自分の命を愛し、日々の時間を大事にお過ごし下さい。

ところで、私は3年6ヶ月、本大学に在籍しましたが、本年3月末を持ちまして退任いたします。在籍中の大きな出来事の一つに、「同窓会組織」が設立され、実働していることが挙げられます。創立10周年記念の際には、同窓会の庭が見事な造園の中に生まれ、記念樹・モニュメント時計と共に美しい景観を見せていました。

さらに、志半ばにして学業困難に陥る後輩のために、奨学金制度を設立して下さいました。このことは表現出来ないほど大きな感謝として私の心に残っています。

どうか、今後とも本学卒業生であることを誇りとし、ご活躍下さい。私自身、退任はいたしますが、皆さんとのご縁はこれからも大切にして参りたいと思っています。ありがとうございました。

定年退職にあたって

人間社会学部 国際観光学科 教授 岩本 敏夫



開学から12年、3月に70歳の定年退職の日を迎えました。これまで定年退職を迎える先輩方に対して、今後は仕事を離れて樂々の日々を過ごせるとの思いから「おめでとう!!」のメッセージを送っていました。しかし、自分がその立場になってみると寂しさを覚え、今後は違った形のねぎらいの言葉を贈らねばと思う心境です。

ところで、1月19日の最終講義を聴講してくれた皆さんにはお伝えしたことですが、卒業して社会人となり、懸命にさまざまな日々を生きておられる皆さんにも私の苦しく、心細い思いをした体験の一つをお伝えしたいと思います。1995年1月17日、阪神・淡路大震災が起きました。犠牲者や被害者の数は未曾有のものでした。旅行業界も甚大な影響を受け、航空規制緩和以降、競争激化にあった航空企業の財務悪化に拍車をかけることになりました。私が働いていた航空会社では、観光需要を中心のため価格競争が一層激しくなり、60歳の定年まで勤めるつもりでいた私でしたが、翌年3月に早期希望退職に応じざるを得なくなりました。

年齢54歳。思いに反して再就職はなかなか決まり、「たった一つの席が今の自分には無いのか」と自信を失いかけた頃に、航空会社時代にNZ大使館広報代表として知己を得ていた東海大学福岡短期大学教授が、そこに導いて下さることになりました。そして、2000年の本学開学と同時に、開学直前に故人となられたその先生の推挙で本学に転籍することができたのです。

人生、順風満帆とはいかないものです。ですが、「朝の来ない夜はない」と申しますし、「捨てる神あれば拾う神あり」という格言もあります。辛いとき、苦しいときには、その先に自分が歩む道が開いていると信じ、諦めずに日々を懸命に生きていって下さい。皆さんの母校ではホームカミングデイを設けて、多くの先生方が皆さんの来訪をお待ちです。幸せな時にも、そうでない時にも母校を思い出して拠りどころとして下さい。私も、大切な皆さんとのご縁を得た長崎国際大学での思い出を大切にしていきます。

さようなら佐世保

人間社会学部 国際観光学科 教授 魚谷 和弘



卒業生の皆様、お元気にお過ごしのことと拝察いたします。多種多様な分野で活躍されていることをいろいろなルートから耳にすることが多く、非常に頼もしく思っております。

卒業後、希望の職に就き、元気いっぱい仕事をされている人は、「好事魔多し」の言葉を忘れることなく、謙虚に仕事に取り組まれる事を望みます。又一方、思い通りにならず、挫折を味わっている人も多いと想像します。それは、与えられた試練だと思い、それを打ち破ってこそ、新しい未来が開けます。「万事塞翁が馬」と卒業生の皆様には贈りましたが、どうか目標(夢)を持って、それに向かってポジティブな考え方で生活していただきたいと思います。

今年の春に人間社会学部からは第9期の卒業生が社会に巣立ちますが、それにあわせて小職も定年退職になります。思い起こせば開学した2000(平成12)年から12年間を本学で過ごしたことになります。それまで長崎県には縁がなかった身ですが、お陰様でこの佐世保の地で生活できたことは望外の幸運でした。九十九島や大村湾を始めとする風光明媚な海と山に囲まれ、新鮮で安価な食材を利用でき、災害とは無縁で、人情の残るこの魅力溢れる土地を去ることは寂しい気持でいっぱいです。退職後は千葉県で新しい生活を始めることにしております。各地から上京される時は御連絡いただければ幸いです。関東圏にも多くの卒業生がおられるることは心強い限りです。近い将来、関東地区でも同窓会が開催されることを期待しております。その際は、万難を排して参加させていただきたく楽しみにしています。

最後になりましたが、皆様の益々のご多幸とご健勝を祈り申し上げます。

退任のご挨拶

健康管理学部 健康栄養学科 教授 岩堀 修明



平成24年3月をもちまして、10年間の長きにわたりお世話になった長崎国際大学を辞することになりました。健康栄養学科の最初の10年間を、皆様方と喜怒哀楽を共にして過ごしてきました。1期生と一緒に、細々とスタートした健康栄養学科でしたが、あれから10年、ようやく世間からも評価してもらえるような学科に成長してきました。

いま思い返してみると、本学科が世間から認められるようになったのは、1期生～3期生の人たちの努力が大きかったと思います。特に、2期生と3期生の諸君は、国家試験の合格率が九州で3位というすばらしい結果を残してくれました。これで本学科は、新設校でありながら、一躍周囲の注目を浴びるようになりました。その後も、教職員と学生が一体となった努力が実を結ぶとともに、「医学に重点を置いた栄養教育」というセールスポイントも次第に浸透して、今日の評価を得ることができました。地方の私立大学を取り巻く環境は年々厳しくなってきますが、本学科の評価が、今後ともずっと続き、益々発展して行ってくれること願っております。

私は約40年間、解剖学の研究と教育に携わってきました。その間に、解剖学実習で、学生諸君と一緒に千数百体のご遺体を観察し、さらに約70種類の動物について、その体の内部構造を見てきました。観察した所見に基づき、動物の体について、私は、自分なりの解釈や考えを持っています。これからは、これらをもとにして、本を書いたり、講演をしたりして過ごしていきたいと思っております。

最後になりましたが、同窓会会員の皆様方のご健勝とご活躍、そして長崎国際大学の一層のご発展を祈念致しましてお別れのご挨拶と致します。

平成23年度 部活支援

◆表彰の部

平成23年度課外活動で優秀な成績を収めた団体を表彰し、奨励金を寄付することにより、課外活動の高揚を図ることを目的としています。

（表彰団体一覧）

女子テニス部 空手道部
男子テニス部 アーチェリー部
陸上競技部 ゴルフ部



◆バックアップの部

平成24年1月に募集を行い、同窓会に支援依頼があった団体の中から役員による選抜を行い、支援団体を決定しました。支援団体には、同窓会より活動支援費を送らせていただきました。

女子バレーボール部／男子バレーボール部／男子ソフトボール部／男子バドミントン部／男子ソフトテニス部
女子ソフトテニス部／準硬式野球部／吹奏楽部／よさこいサークル／水泳サークル／書道サークル／軽音楽サークル

学生からのメッセージ >>>>>

クラブ・サークル表彰

◆女子テニス部 [代表] 齋藤 志緒美

今回、このような賞を頂き、私達テニス部一同感謝しています。私達テニス部は、昨年初めての九州制覇を成し遂げ、全国王座という舞台で戦う事が出来ました。しかし、今年は、九州制覇2連覇とともに、全国王座ベスト4という目標を掲げ、これからも部員全員で日々練習に取り組んでいきたいと思います。今回頂いた賞を誇りに思い、長崎国際大学の学生としての自覚と責任を持ち、一人一人が成長していく様頑張りますので、引き続き応援よろしくお願ひします。

◆男子テニス部 [代表] 石井 翔

今回、このような素晴らしい賞をいただき大変光栄に思います。男子テニス部は人数も増え、切磋琢磨しながら日々の練習に取り組んでいます。昨年は長崎国際大学男子テニス部初のインカレ単独出場を果たしました。今年も個人戦インカレ出場を目指し、個々のレベルアップを図ると共に団体戦2部昇格という目標を成し遂げられるように、応援して下さるたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れずに日々の練習に努めて行きたいと思います。これからも引き続き応援よろしくお願ひ致します。

◆陸上競技部 [代表] 石井 達也

2年振りの全日本大学駅伝出場を目指し、日々の練習に励んできました。きたる6月9日の予選会へ向け、チーム一丸となり残り3ヶ月ラストスパートをかけて頑張ります。今回の表彰をモチベーションにして、更なる競技力の向上を図り、目標を達成できるようにしていきます。

◆空手道部 [代表] 藤崎 晴日

今年は、このような賞を頂くことができたのも監督の御指導、そして保護者の支えがあり、皆さんから応援をして下さった方々への感謝の気持ちを忘れないで日々の練習に努めています。今後は、全体では練習中に、一人一人が意識をして取り組むようにし、男子の目標は九州大会優勝・西日本大会ベスト8・全国大会ベスト16であり、女子は九州大会無敗・西日本大会優勝・全国大会ベスト8を取れるように今年は頑張っていきたいと思います。日々の練習を大事にし、去年より良い成績が残せたら良いです。

◆アーチェリー部 [代表] 伊豆 善大

私達アーチェリー部は、今年度から10人の新1年生を迎える、部としても大きくなります。今年度の目標として、男女で全国大会での上位入賞の他、個人では、一人一人の技術の向上と自己ベストの更新を目指していきたいと思います。そのためにも、日々の練習や監督である金先生の指導の下、

個人個人が練習の意味をしっかりと理解し、アーチェリーに対する意識を高めていき、競技力と人間性の向上に努めさせていきたいと思います。

◆ゴルフ部 [代表] 境 翔吾

今回、同窓会からゴルフ部の活動が、このような形で表彰されたことは、部員一同大変喜んでいます。今年のゴルフ部戦績は、九州大会個人戦で3大優勝を挙げることが出来ました。創部以来、大学関係者の方々をはじめ地域の方々にもご協力していただきこの戦績が残せたと思っています。今後はこの表彰を心の支えとして、また心の糧として、表彰の栄誉に恥じぬよう、さらに大きく活躍の場を広げたいと考えます。卒業生の皆さん今は、このような表彰をしていただきありがとうございます。これからも精一杯練習に励み努力していきますので、応援よろしくお願ひ致します。

クラブ・サークルバックアップ

◆女子バレーボール部 [代表] 山下 歩

今回、このような支援費を頂き、とても有難く思います。私達女子バレーボール部は今後も九州ブロックで1部を維持し、その上で上位4位を目指し、関東や関西などの強豪チームと張るような団体を目指しています。その中で、長期遠征などへ行きチームを強化したく、このクラブ・サークルバックアップの支援に応募しました。卒業された先輩方の想いを胸に託し、日々の練習や様々な大会を精一杯頑張ります。

◆男子バレーボール部 [代表] 野田 英

この度は、支援金をいただきまして、ありがとうございます。私達男子バレーボール部は少ないメンバーアーではありますが、日々の練習に励み一所懸命に頑張っています。来年度の目標は、4部又は3部への昇格です。また、現在は5月に行われる春季リーグにむけ練習試合など、実践的な練習にも励んでいます。これからもチーム一丸となり、今まで以上に頑張っていきたいと思います。今後とも暖かいご支援のほどよろしくお願ひ致します。

◆男子ソフトボール部 [代表] 小金丸 健太

今回、部活支援をしていただきありがとうございます。春に行われる大会で結果を残し、西日本大会に出場する事が目標です。それに向け、練習や練習試合を組み、チーム全体が向上する為に頑張っていきたいと思っています。また、その大会だけでなく、社会人チームや他大学との交流を持ち、チームの向上を図りたいと思います。そして、ソフトボール教室なども開催する事が出来れば、多くの人に楽しんでもらえると思います。チーム一同、頑張りますので応援よろしくお願ひ致します。

◆吹奏楽部 [代表] 宜野座 まりか

私達吹奏楽部は、昨年までは、学内演奏や保育

◆男子ハンドミントン部 [代表] 三好 風太
この度男子ハンドミントン部を支援していただき、ありがとうございます。毎年頂いている部費だけでは、シャトル代や遠征費をすべてまかなうことが出来ず、部員に辛い思いをさせましたので、今回この支援を受ける事が出来て、大変助かります。支援を頂いたからには、今まで以上に部活動に力を入れて、部活全体の競技レベルのアップ、各大会の遠征費などに支援費を使い、大会の上位入賞を目指し、大学に貢献できるように、より一層努力していきたいと思っています。

◆男子ソフトテニス部 [代表] 内山 大地

私達男子ソフトテニス部は、今後の活動として、春リーグでは一戦一戦部員のみんなが勝てるよう一人一人が練習の時から目標を持ち、週4回(月・水・金・土)の部活を行っております。部活では一人一人がそれぞれ意識し、チーム一丸となって来年は2部昇格を目指して頑張っていこうと思っています。また、秋リーグで勝つためにも夏には青少年の天地と学校で2回合宿を行います。さらに今年は昨年あまり出来なかった他大学との練習試合をいきたいと思っています。

◆女子ソフトテニス部 [代表] 中川 真都香

私達女子ソフトテニス部は、4年生の先輩が引退し、現在3人で活動をしています。人数が少ない為、男子と一緒に日々の練習を頑張っています。私達は、春と秋に開催される、リーグ1部昇格を目指して一人一人が目標を持ち、チーム一丸となって練習をしています。私達は現在リーグ2部という先輩方が築いて下さった結果をさらに上回れるように今年は女子部員を増やし、チーム全体を盛り上げ、精一杯頑張っていこうと思っています。

◆準硬式野球部 [代表] 加茂 章弘

今回、同窓会の支援ありがとうございました。準硬式野球部は昨年の九州大会で4位という結果を残し、石川県で開催された清瀬杯という大会に参加する事が出来ました。昨年も同窓会に支援していただき、消耗品のボールの購入や練習試合の費用で役立たせて頂き、例年よりも良い環境を整える事が出来て清瀬杯出場という結果を出す事が出来ました。ありがとうございました。今後は3月にある長崎県リーグで九州大会のシード権をかけて戦い、5月の九州大会をベストの状態で戦えるように各部員が練習に励んでいます。今年は例年なく、練習試合の申し込みが増えておりますので、今回の支援を有効に活用して去年のベスト4という成績以上を目指したいと思っています。今後とも準硬式野球部を応援よろしくお願ひ致します。

◆吹奏楽部 [代表] 宜野座 まりか

私達吹奏楽部は、昨年までは、学内演奏や保育

園などの施設での演奏、福祉の演奏会での演奏などの活動をしてきました。今年は、新入生の勧誘に力を入れ、活動の幅を広げ、学内での活動だけでなく、地域とのふれあいを大切にし、練習に励んでいきたいと思っています。そして、今年はアンサンブルコンテストへの出場を目標に掲げ、参加するだけなく、結果を出せるよう、より一層努力していきたいと思っていますので、応援よろしくお願いします。

◆よさこいサークル [代表] 久松 晴美

こんにちは。私達はよさこいサークル、「Yosaこくさい」です。私達の今年の目標は「旗」や「煽り」を取り入れ、「長崎国際大学Yosaこくさい」をより多くの人にPRすると共に、「YOSAKOIさせぼ祭り」でファイナル進出、そして大賞を取ることです。今年は、「YOSAKOIさせぼ祭り」が15周年を迎えます。この機会に「旗」を持ち、チームを盛り上げ、祭りを盛り上げ、地域の活性に協力し、よさこいで関わる様々な人々との間わりも大事にしていることを思っています。

◆水泳サークル [代表] 荒木 勝

学校にプールがないこともあり、なかなか活動できませんでしたが、同窓会から援助を受け、練習をもっと増やし、合宿なども行っていきたいと思います。今後は、選手登録の人数を増やし、大学の大会や県の大会で、リーグに出場したいと考えています。また、現選手登録者は、決勝まで残れるよう日々練習を積み重ねていきたいと思っています。部員の薬学部2年岩本は、バラリーピックを目指しているので、目標を達成して欲しいです。多くの人が水泳を通じて、仲間にあってほしいと思っています。

◆書道サークル [代表] 謝 欽時

このたび同窓会の皆様からの支援金をいただき、誠にありがとうございます。皆様からのご支援する気持ちにお応えできるように、このいただいた支援金を書道サークルの活動に活かして大切に使いていきたいと思います。今後より一層書道サークルの活動及び地域貢献ができるように、書道サークルの皆が力を合せてさらに頑張っていきたいと考えております。どうぞ宜しくお願ひ致します。

◆軽音楽サークル [代表] 清水 寛士

僕達軽音楽サークルは、昨年設立したばかりの新しいサークルです。昨年は、右も左も分からず、機材や活動場所もままならない中、メンバーと話し合い、なんとか軌道にのせてきました。なので、この24年度は、機材の購入、安定した活動場所の確保で、より本格的な練習を行って、昨年度あまり行うことのできなかったライブハウスでの活動を、より多く行えるようにしていきたいと思っています。軽音楽サークル一丸となって、みんなさんの心に届けられるような演奏出来るよう精進してまいります。

卒業して気付かされたこと

人間社会学部 社会福祉学科 6期生

ノザキ シュンスケ
野崎 遼輔

こんにちは、社会福祉学科第6期卒業生の野崎遼輔です！

私自身なかなか都合がつかず、同窓会総会や懇親会に参加出来なかつたのですが、参加した友達の話を聞くにつれ、今度は参加したいと思っています。

私は現在、中・高校生向けの情報誌Voiceという雑誌の製作、営業を行っています。営業という仕事は、物をただ売るだけではなく、人間関係を如何に築き、信頼関係を作っていくかというとてもやりがいのある仕事だと感じています。仕事柄、大学には頻繁に足を運ばせて頂いているのですが、先生方や事務の方々にとても親切にして頂き、改めていい大学を選んだと実感しております。昨年は、理事長にお会いする機会があり、自分がしている仕事について話を聞いてもらえたことがとても嬉しかったです。

同窓生の中でも結婚している友達もあり、嬉しい反面少し寂しく思います。私の学生時代は、少し話しかけづらかったかも知れませんが、同窓会では気軽に声をかけていただければ幸いです。皆様にお会い出来る日を楽しみにしております。

平成23年度 幹事紹介

今年新しく幹事を引き受けてくれた方の紹介をいたします。

各学年の幹事の皆様今後も同窓会の活動のサポートよろしくお願い致します。

各年度の学科幹事

	国際観光学科	社会福祉学科	健康栄養学科	薬学科
1期生	前山 薩人	藤 貴仁		
2期生	福本 清海	山口 哲史		
3期生	勝本 健太	橋之口 裕太	吉田 真一	
4期生	荒巻 桂二郎	飯田 知幸	木場 嗣保	
5期生	町中 啓一	川久保 麻美	長岡 千歌	

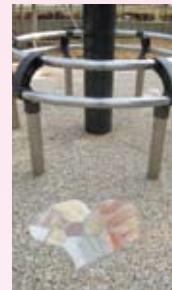
	国際観光学科	社会福祉学科	健康栄養学科	薬学科
6期生	京下 太一	浦田 奈津季	川尻 浩司	
7期生	大串 秋穂	久原 美紀	吉田 智美	
8期生	加藤 健太	織田 和成	北原 幸	
9期生	小佐々 美波	宮内 足知雄	田中 奈緒	大山 錠子
留学生幹事	章 潔			

モニュメント時計のコンセプトは“あ・い”。

今では、すっかり周りの風景と一体化し、みんなの和みの場となりつつあります。

実は…またまたこのモニュメント時計の前で結婚式用の写真を撮りたいという依頼が卒業生よりありました。在学生だけでなく、卒業生にもこの場所を活用してもらっていることを同窓会役員一同心から嬉しく思います。

このモニュメント時計が設置している場所には、いくつか「ハート」が隠されていることを皆さんお気付きでしょうか？まだ発見していなかった方、そしてまだ見に来られていない方はぜひ、大学に足を運んで、見つけてみて下さい。そして、今年また新たに9期生が同窓生に加わり、9つめの砂時計が設置されましたので、合わせてご報告致します。



卒業生のいま

折原賢児 悅和会会長

大学時代から音楽活動をはじめ「全国龍馬の歌音楽祭2006」でグランプリ受賞(2006)。以後、離島を含め、全国を回りながらライブ活動を展開中。今回、二枚目の作品となるDVD『コトノハ』(特典CD付き)が全国発売中!! 彼が繰り広げる繊細な音や詩の世界は幅広い世代から支持を得ている。シャイで熱い男であり、今注目のシンガーソングライター。



DVD『コトノハ』(特典CD付き)二枚組 ¥1575(税込)

【内容】DVD:「コトノハ」 CD:①コトノハ ②Love me ③君のイタズラ ④忘れないで

[CDのお問い合わせ先] oriken0826@yahoo.co.jp

[その他情報] 公式HP『おりけん横丁』

<http://ip.tosp.co.jp/i.asp?I=orikenken>

Facebookやってます★お気軽にお問い合わせください♪



東日本大震災から1年が過ぎ、あらためて命の大切さと仲間の絆について考えさせられました。今回の広報誌を発行するにあたり、今年はじめから、大学生活を共にした仲間との懐かしい日々を思い出しながら、準備作業に取り掛かっていました。

そのような中、2月に社会福祉学科第8期卒業生の清水美里さんが、通勤途中事故に巻き込まれ、亡くなられたとの訃報が舞い込んできました。その日は、バレンタインデーで、勤務先の保育園の子どもたちに贈ろうと準備したチョコレートが車内に残っていたそうです。清水さんは在学中より、保育士になることを夢見て、頑張っていました。就職してまだ、1年目。本当に残念です。悠和会員一同、心よりご冥福をお祈り申し上げ、志半ばで亡くなった仲間の分まで、精一杯生きていきたいと思います。